

2007.1
賀正
第30号

玉永寺通信

発行：富山市水橋小出 52 玉永寺

編集：石川正穂



上条小学校6年 古西優樹さん作 「歴史のある玉永寺」

新春にあたって

謹んで新春のお祝いを申し上げます。昨年中はいろいろとお世話になり、ありがとうございました。本年もなにとぞ、よろしく願い申し上げます。

昨年より、富山別院の修復のための御懇志をお願いしております。本山瓦懇志に引き続き、御門徒の皆様から浄財をたまわり、心から御礼申し上げます。三年間の募財期間をかけての完納を、目指しております。

昨年は教育をめぐる問題が噴出した年でした。子どものいじめ、自殺をどのようにしたら防ぐことができるか、だれもが悩み、暗い気持ちになりました。まさに、「末法」の時代を実感したことです。

しかし聖人は、「末法」だからと諦めたりはしませんでした。暗い時代だからこそ、光り輝く教えがあるのだと、時代を引き受けていかれました。

今こそ命の大切さを、私自身から話し合っていきたいと思っています。

11月28日 御正忌 「まんさん」



20人あまりのお参りがあり、アットホームな雰囲気の中でお勤めをしました。聖人の好物だったという小豆が入っている「いとこ煮（遺徳煮）」を、皆で美味しくいただきました。

もっと大勢の方に来ていただくために、次回は広くお知らせします。

9月28日
玉永寺しゃしん日誌



上条小学校6年生のみなさんが、寺の写生に訪れました。

表紙の絵は、このときに古西さんが描いてくださったもので、学校のギャラリーに展示されました。本堂が生き生きとしていますね。素晴らしい作品です。

10月20日、21日 玉永寺報恩講

聖人の遺徳を偲ぶ報恩講を、参詣者の皆さまと共に、2日間にわたってお勤めしました。のべ、100人ほどの方々がお参り



くださいました。20日は砺波の埴山法雄さん、21日は写真の稲垣一映さんのお話を聞きしました。埴山さんは「末代無智」の御文を取り上げられました。分かりやすいお話を聞けて、「そうか、こついつこつか！」目から鱗が落ちたような思いでした。

12月9日

2006年さよなら感謝の集い

玉永寺子ども会と小出老人クラブのメンバーが参加する年末お楽しみ会です。子どもたちが仏教讃歌を歌い、ピアノ演奏、なわとび、フラフープを披露します。



朗読寸劇「大きなかぶ」。ウチの母も特別出演しました。みんな、なかなかの熱演でした。



立山町辻、柳瀬啓子さんによるマジックショー。



子どもも大人も大喜び！
お昼は小出児童クラブのおかあさん方の炊き込みご飯をいただいて、一日を楽しみました。

玉永寺年中行事

修正会	1月1日
初お講	2月28日
春の彼岸	3月21日
永代祠堂経	5月26日・27日
お盆暁天講座	8月15日・16日
秋の彼岸	9月23日
仏教婦人会	10月20日
報恩講	10月20日・21日
ごまんさん	11月28日
玉永寺同朋の会	毎月27日
玉永寺子ども会	毎月第2土曜日

詳細は玉永寺までお尋ねください。
ぜひ、お参り、ご参加ください！

第十一組門徒会長をされていた柳瀬庄蔵さんと、玉永寺責任役員の柳瀬文作さんが、10月に相次いで亡くなりました。玉永寺を盛り上げてくださったご功績に、心から感謝申し上げます。合掌

富山別院 ダイヤル法話

電話での法話原稿です。

1月13日から左記の番号で母の声が聞けます。ぜひ、おかけください。

電話 076・4222・1970

私は仏様に花をお供えしたく、境内のあちこちに花の苗を植えています。

春には金盞花やチューリップが咲き、それが終わると雨の中に紫陽花が咲き、次に菖蒲が咲きます。

昨年、暁天講座が開かれる早朝、はじめて境内に蓮の花がひらきました。大きな青々とした葉の間から、柔らかな淡いくない色をし、凜として立った優雅な美しい花の姿に、参詣された方々と共に魅了されました。

「なんと優しい、なんと清らかな」と、思わず花に語りかけました。

そして朝夕、親鸞聖人の正信偈のお勤めをする中に出てくる、聖人が念仏者の姿を「是人名分陀利華」、この人を「分陀利華」

と名づくこと教えてくださっていることを思い出しました。

「分陀利華」は泥沼の中に咲いた蓮の花です。この美しい花は泥沼の中で育つ花です。泥は三毒の煩惱であり、それは自分中心でしか生きられない私の姿であると教えていただいています。

親鸞聖人は阿弥陀さまの誓願を聞きひらき、阿弥陀さまの智慧と慈悲に照らされて、次から次と、問題が投げかけられる生活の中を歩むならば、あたかも蓮が泥の中から清らかな花を咲かせるように、煩惱の身のまま仏になる道を賜ると教えて下さっています。

私は四季の変化にそれぞれ咲く花を育てながら、いかり、はらだち、ねたむこころの絶えない泥のような我が身を凝視し、如来の本願のいわれを聞いてまいります。

親鸞聖人の七百五十回御遠忌法要を、あと四年で迎えます。是非この御法要をお参りし、宗祖としての親鸞聖人にお会いしたいと願っています。

玉永寺前坊守 石川千穂子

2007年(平成19年)年忌表

1周忌	2006年(平成18年)
3回忌	2005年(平成17年)
7回忌	2001年(平成13年)
13回忌	1995年(平成7年)
17回忌	1991年(平成3年)
23回忌	1985年(昭和60年)
27回忌	1981年(昭和56年)
33回忌	1975年(昭和50年)
50回忌	1958年(昭和33年)



玉永寺通信

発行所 富山市水橋小出五二

真宗大谷派玉永寺

TEL 076(478)0846

インターネット玉永寺ホームページ

http://www.gyokueiji.net